

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	茂原市総合戦略推進事業			基本計画	章	6	総合戦略	基本目標	3
事業コード					節	5		施策の方向	(2)
課係名	企画政策課政策推進室	内線			項	5		施策	③
担当者氏名			職名		細項目	4		整理番号	32301

事業概要 総合戦略及びシティプロモーション基本方針に基づき、地域資源をロケ地として情報発信やそのための体制づくりを行う。また、ロケ地としての実績を効果的に情報発信し、作品の舞台として訪れてもらうロケツーリズムによるシティプロモーションを進め、併せてご当地グルメの開発により、地域の魅力や認知度の向上、愛着度の増加による移住・定住人口の増加を図る。

現在の課題や市民要望など シティプロモーション基本方針による調査では、茂原市民は他市の市民に比べ、自らが住むまちについての自己肯定感が低く、自らまちの魅力を認識していないことが推測され、また魅力の情報流通不足により、市内での消費喚起や行動促進につながっていないことが課題である。そのため、市民自らが魅力を認識し、発信していく取り組みが必要である。

事業目的

- ① ロケツーリズムによる地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上
- ② ロケ地としての認知度と地域への愛着度の向上による移住・定住の促進
- ③
- ④

個別取組

- ① 外部専門家講演会開催
- ② 情報発信・広報企画業務
- ③
- ④

事業による改善・変更点

- ① 地域経済の活性化
- ② 認知度の向上
- ③ 地域への愛着度の向上
- ④ 移住定住の促進

事業対象 個人・世帯 団体(民間) 団体(公共) 内部管理 その他 ()

内容 ① 職員及び民間事業者 ② 映画やテレビなどの制作者
③ 茂原市への来訪者 ④

業務形態 全部委託 一部委託 直営 負担金・交付金 その他 ()

内容 ① 民間事業者への委託 ②
③ ④

支出根拠 有 無 法令要綱等名称 ① ② ③ ④

事業継続 単年度 複数年度:無期 後年度負担 有 無
 複数年度:有期[始期 H30.9 ~ 終期 H33.3] 内容

事業費の積算	年度	事業内容	事業費	国	県	市	その他	一般財源	事務スケジュール	
									年月	内容
30年度	【ロケツーリズムの推進】 ・外部専門家講演会開催 (ロケ受け入れ体制づくりのためのセミナーの開催4回) 2,800,000円 ・情報発信・企画業務 ロケ情報誌及び情報サイト掲載、ロケ地マップ作成 6,200,000円	事業費	9,000						H30.7	内閣府地域活性化伝道師セミナー
		国		4,500					8	仕様書打合せ
		市							9	契約
31年度	【ロケツーリズムの推進】 ・外部専門家講演会開催 1,000,000円 ・情報発信・企画業務 4,000,000円 【ご当地グルメの開発】 ・外部専門家講演会開催 2,000,000円 ・情報発信・企画業務 3,000,000円 【移住・定住促進事業】 ・WEBサイト構築 3,000,000円	事業費	13,000						10	セミナー開催(1回目)
		国		6,500					11	セミナー開催(2回目)
		市							H31.1	セミナー開催(3回目)
32年度	【ロケツーリズムの推進】 ・外部専門家講演会開催 1,000,000円 ・情報発信・企画業務 4,000,000円 【ご当地グルメの開発】 ・外部専門家講演会開催 2,000,000円 ・情報発信・企画業務 3,000,000円	事業費	10,000						3	シンポジウム開催(4回目)
		国		5,000						情報誌掲載
		市								
		その他								
		一般財源						5,000		

経費節減効果 有 無 節減効果の内容

金額 千円

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			30年度	31年度	32年度
■ 活動指標	①	セミナーの開催	セミナーの開催回数	5	5	5
	②	情報発信回数	記事掲載の回数	2	2	2
■ 成果指標	①	社会増減の数	転入数-転出数	0	10	10
	②	観光客入込数	茂原市の商工業による	1,278,000	1,428,000	1,587,000

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	ロケを積極的に、また大型の作品を受け入れるためには、ワンストップで対応できる官民一体となった体制構築が必要であり、そのためには行政が一元的、組織的な対応することが必要である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	茂原市のFacebookにロケ情報を投稿することによる反応は、通常の投稿に比べて反応が多く、市民の共感を得やすい。また、映画「ローマの休日」の効果でローマへの観光客が増加する等、ロケツーリズムによるシティプロモーションは大きな効果があるものと思われる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	ロケの受け入れや情報発信体制が構築されることにより、セミナーの開催は必要なくなり、コストは削減されていく。また、ロケツーリズムは、作品の放送終了後も、広告宣伝費を掛けずにシティプロモーションの効果が期待できる。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	今年度に入り、撮影支援を6件(連続ドラマあり)行っており、早朝から深夜、休日中の対応を行っているため、体制づくりが早急に必要な状況である。また撮影支援を行った作品を効果的に発信していく必要がある。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どのような市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	映画やドラマの撮影地となることで、魅力的な観光資源として、自らの地域に愛着を持つことが可能になる。地域活性化に向け、意欲的な取り組みを行う地域に地域おこしのスペシャリストを派遣する、内閣府の地域活性化伝道師派遣制度を利用している。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
<p>ロケツーリズムは、観光庁の「テーマ別観光による地方誘客事業」のモデルケースとして、選定された取組であり、ロケツーリズム協議会には、観光庁もオーガナイザーとして参加しており、国を挙げての事業となっている。最近の成功事例では、いすみ市の「万引き家族」などがあげられる。</p>			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 総合戦略において、シティプロモーションの展開により市内外への情報発信力を強化することとしており妥当である。 なお、地方創生推進交付金が採択されなかった場合は事業内容を再検討するものとする。
	■政策調整会議による評価	
	評価	◎評価理由
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 茂原市の認知度向上や地域活性化に資するものと認められることから、担当課の提案通り実施するものとする。	
■庁議による方針		
評価	具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 茂原市の認知度向上や地域活性化に資するものと認められることから、担当課の提案通り実施するものとする。	